

第4章 文化的景観の保存に関する基本方針

野火止用水・平林寺の文化的景観の保存を図るために、保存計画の目指すべき方向を目標として次のように設定します。また、この目標を目指した基本方針を保存管理、整備活用、推進体制の観点から定めます。

目標

野火止用水と平林寺が一体となった文化的景観

野火止用水と平林寺を中心として、周辺の雑木林・屋敷林・農地が一体となった、新座らしい自然環境が豊かな文化的景観を継承することを目指します。

地域の歴史と文化を発信し、市民の暮らしとともにある野火止用水の文化的景観

野火止用水と平林寺を中心とした地域の歴史と文化を内外に発信するとともに、市民の暮らしに身近な親しまれる場と景観をつくることを目指します。

連帯と協働で築く野火止用水の文化的景観

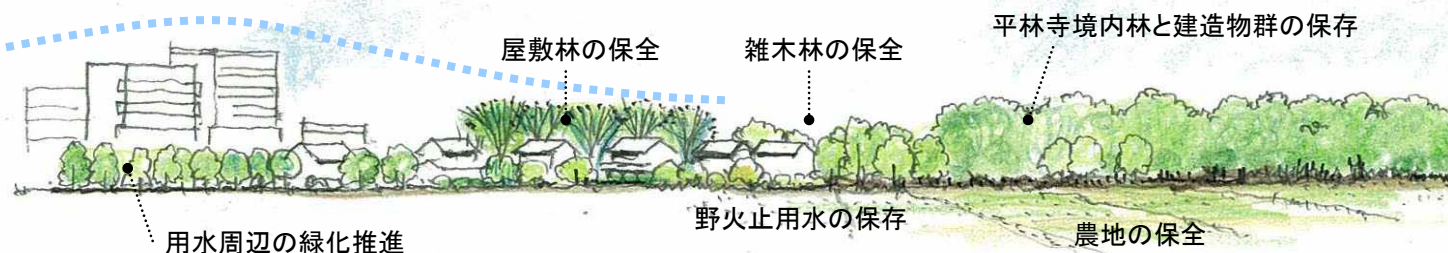
野火止用水と周辺の文化的景観を、市民と市の連帯と協働によって育てていくことを目指します。

野火止用水を中心として、農地や雑木林・屋敷林等の重要な構成要素が一体となった景観を守り、育てる



図 4-1 文化的景観の保存の考え方

緑と調和する良好なまちなみ景観の形成



基本方針

●保存管理

本区域は、都心から 25km 圏内にありながらも、武蔵野の面影を残す雑木林・屋敷林・農地が数多く残り、豊かな自然環境に恵まれています。都市化が進展する中でも、野火止用水と一帯の文化的景観を持続可能な形で継承していくため、野火止用水の保存を基本としながら、周辺の雑木林・農地等の景観の保全・形成を図るものとします。

●整備活用

野火止用水は、歴史的文化資産であるだけでなく、憩いの場として親しまれ市民の生活に溶け込み欠くことのできない存在となっています。

このような野火止用水の景観に配慮した整備活用を図り、地域のかつての暮らしや文化の学習、レクリエーション、観光等の利用に役立てていくものとします。

●推進体制

野火止用水の文化的景観を継承し、その価値を高めていくためには、体制づくりや仕組みづくりが重要です。

このため、市による取組を強化するとともに、市民等の自主的な取組を支援し、更には市と市民等の協働による推進体制づくりに努めるものとします。

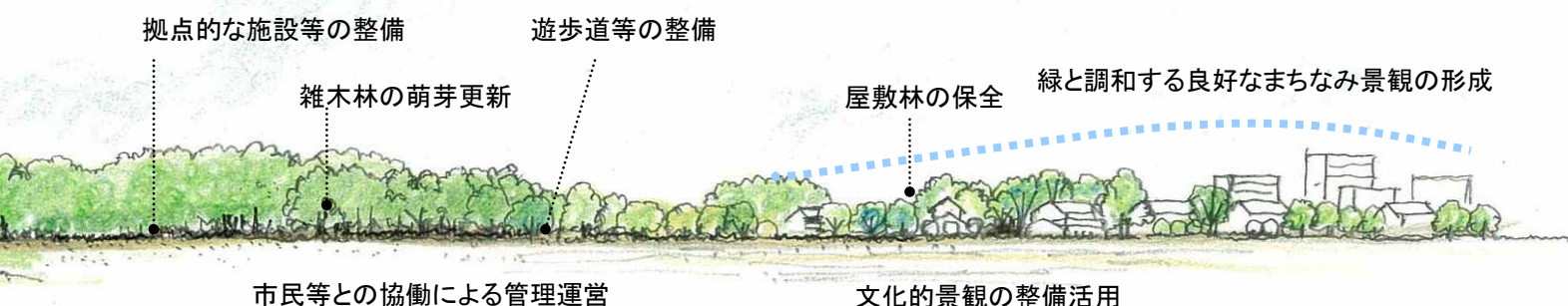
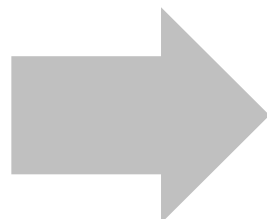


図 4-2 野火止用水・平林寺の文化的景観の保存イメージ